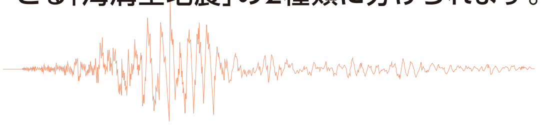
長浜市の地震

長浜市を襲う地震とは…?!

長浜市を襲う地震は、内陸の活断層でおこる「活断層地震」と大陸のプレート間でおこる「海溝型地震」の2種類に分けられます。



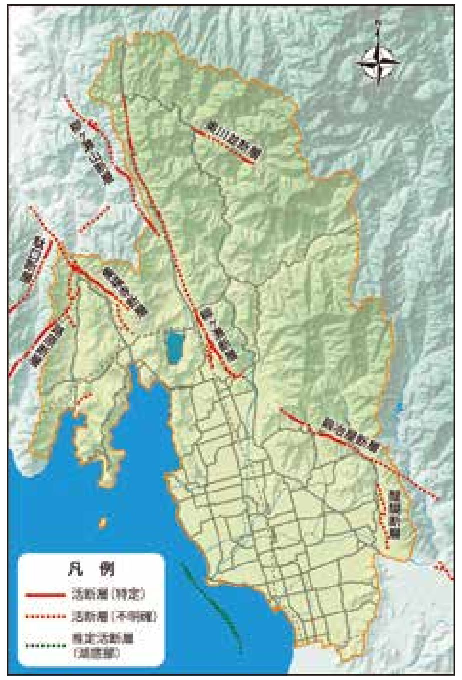
活断層地震

活断層地震は、地下の地盤に押し合う力や引っ張り合う力が加わることで、ひずみのエネルギーが蓄積され、それが限界に達したときに、ある断層面を境に地盤がずれ動くことで発生します。
長浜市では、特に「柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震」によって甚大な被害が発生することが想定されています。

海溝型地震

海溝型地震は、海側のプレートが陸側のプレートの下にもぐりこむことで、境界にひずみのエネルギーが蓄積され、それが限界に達したときにプレートが元に戻ろうとしてはね上がることで発生します。
長浜市では、特に南海トラフで発生する地震によって被害が発生することが想定されています。

長浜市における活断層



出典：国土地理院技術資料D・1-No.449

南海トラフの震源

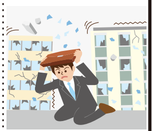
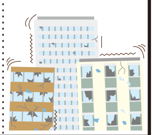
出典：平成24年南海トラフの巨大地震の想定震源断層域

海溝型地震の発生イメージ

海側のプレートが陸側のプレートの下にもぐりこみ、ひずみが蓄積される。

ひずみに耐えきれなくなり、陸側のプレートの先端がはね上がる。

震度階級表

震度4	○ほとんどの人が驚く。 ○電灯などのつり下げ物が大きく揺れる。 ○据わりの悪い置物が、倒れることがある。	
震度5弱	○大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ○棚にある食器類や本が落ちることがある。 ○固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	
震度5強	○物につかまらないと歩くことが難しい。 ○棚にある食器類や本は落ちるものが多くなる。 ○補強されていないブロック塀が崩れることがある。	
震度6弱	○立っていることが困難になる。 ○壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ○耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。	
震度6強	○はわないと動くことができない。 ○耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。 ○がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山の崩壊が発生することがある。	
震度7	○耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ○耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多くなる。	

地震被害　地震が発生するとどんな被害が起こるの?

地震が発生すると、さまざまな被害が起こります。地震が原因となる被害を一次被害と呼び、建物の倒壊や地すべり、液状化などが挙げられます。一方、一次被害に続いて発生する火災やライフラインの寸断などを二次被害といいます。

1 建物の倒壊

地震の強い揺れにより、多くの建物で窓ガラスが割れたり、壁が崩れて傾いたり、屋根瓦が落ちてきたりします。揺れに弱いつくりかたの建物は倒れたり、つぶれたりすることもあります。

2 がけ崩れや地すべり

地震が起こると強い揺れによって、地盤が緩んだり、崩れたりして、がけ崩れや地面がすべり落ちる地すべりが発生することがあります。

3 液状化現象

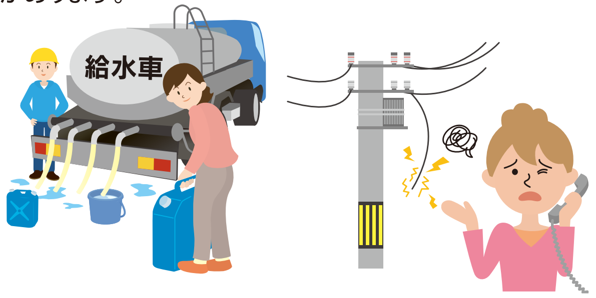
埋め立て地などの地盤が緩いところでは、地震の揺れによって地面が沼のようになることがあります。これを液状化といいます。液状化が起こると地面から泥水が噴き出したり、建物が傾いたり、地中のマンホールや下水管が浮き上がってきたりすることがあります。

4 火災

大きな地震が起こると、二次被害として火災が発生することがあります。家が密集している地域では、次々に燃え広がり、大きな被害になることがあります。

5 ライフラインの寸断

水道や下水道、電気、ガス、電話など、私たちの暮らしに欠かせないしくみをライフラインといいます。
地震が起こるとこれらの設備が壊れて使えなくなることがあります。



6 津波

地震のあとに起こる可能性が高いのが津波です。
滋賀県には海がありませんが、旅行先で津波にあう恐れもあります。津波はくり返しやってきて、1つめの波より、2つめ、3つめの波が大きいことがあるので、津波警報や津波注意報が解除されるまでは、油断しないようにしましょう。